



## 日本教育心理学会第 55 回総会のご案内

### 成果の見える教育環境づくり

2013 年 8 月 17 日(土)・18 日(日)・19 日(月)  
法政大学(市ヶ谷キャンパス)

#### ご挨拶

遠くの間々も澄みきった青空に映える季節となりました。皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、日本教育心理学会第 55 回総会を、東京から美しい富士の眺望が叶う「富士見」の地にあります法政大学市ヶ谷キャンパスで開催させていただくことになりました。

総会期間は、2013 年 8 月 17 日(土)から 19 日(月)までの 3 日間です。夏の真っ盛りの開催で、第「55」回という 5 の並びに勢いを得て、法政大学文学部心理学科の教員が一致団結して開催の準備を進めているところです。準備委員会では、「成果の見える教育環境づくり」をテーマとして掲げることになりました。近年、教育実践に成果(エビデンス)が求められるようになってきました。目に見える成果を検証できない教育実践は見直していくべきだという考えが背景にあると思います。しかし、そもそも子どもたちの教育環境づくりにおいてめざすべき「成果」とは何なのか、いかなる方法で検証していくのかという点を改めて見直し、こぞって熱く語り合うことは大変意義があるのではないかと考えます。

この視点に立ち、準備委員会では特別講演二つと特別公開シンポジウムを企画しております。特別講演は効果のないじめ予防プログラムについて、ハンドブックをまとめておられるカリフォルニア大学サンタバーバラ校の Shane Jimerson 先生と、子どもたちが健やかに成長する学校環境について、特別支援を含むスクールワイドの教育に詳しいコネチカット大学の George Sugai 先生にお越しいただく予定です。さらに、今回は特別公開シンポジウムを「学校危機からの復興と予防のモデルの創成」をテーマに開催します。2011 年の大震災は今なお多くの子どもの教育に影響を及ぼしています。そこでの復興に取り組まれている経済協力開発機構(OECD)や国立教育政策研究所からシンポジストをお迎えします。また、すべての学校で今後どのような備えをすればよいのかという予防の観点から、学校危機介入モデルに取り組んでおられる海外の研究者や実践者をお迎えし、「復興」と「予防」の教育モデルを日本から発信できればと考えております。その他、準備委員会企画シンポジウムや準備委員会企画チュートリアルセミナーについてもバラエティに富んだ内容を企画しております。ご期待ください。

法政大学は千代田区にあり、江戸城の名残である外濠公園の緑と靖国神社に囲まれているほか、皇居や武道館も近いことから、都心でありながら緑豊かな環境にあります。神楽坂などの賑やかな飲食街にも近く、このところ新しく変貌した東京駅からも比較的便利な場所にございます。

第 55 回総会準備委員会一同、多くの会員の皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

日本教育心理学会第 55 回総会準備委員会  
委員長 渡辺弥生

日本教育心理学会第 55 回総会について以下の通りご案内いたします。

## 1 会期・会場

会期：2013 年 8 月 17 日(土)・18 日(日)・19 日(月)

会場：法政大学(市ヶ谷キャンパス) 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

## 2 予約参加・発表申込み・発表論文集原稿提出・諸費用払込み締切

各種申込み	予約参加	2013 年 6 月 14 日(金) 23 時 59 分
	ポスター発表	2013 年 4 月 12 日(金) 23 時 59 分
	自主企画シンポジウム	
発表論文集原稿提出		
諸費用の払込み	ポスター責任発表者	2013 年 4 月 12 日(金)
	自主企画シンポジウム企画者	
	予約参加者	2013 年 6 月 14 日(金)

注 1) ポスター発表および自主企画シンポジウムの申込みと、発表論文集原稿の締切日は同じです。なおかつ締切は昨年より早くなっています。

注 2) 自主企画シンポジウムの企画や発表(出演)回数は 2 回までとします(詳細は 4 の 1) 自主企画シンポジウムの発表方法参照)。

注 3) 予約参加申込み・発表申込み・発表論文集原稿提出は原則として総会ホームページ上で行います。申込みは、2 月頃開始予定です。詳細については、総会ホームページでお知らせいたします。

※総会ホームページの開設については、日本教育心理学会ホームページでお知らせいたします(<http://www.edupsych.jp/>)。

注 4) 交通・宿泊等のあつせんはいたしません。

## 3 研究発表(ポスター発表)

研究発表は、ポスター発表のみで行います。以後、ポスター会場で発表する方を「ポスター責任発表者」とし、連名の方を「ポスター連名発表者」とします。

### 1) 発表方法

- ① 発表内容をポスター形式で掲示し、それをもとに個別に討議していただきます。ポスターの大きさなどの詳細については、後ほど総会ホームページやプログラムでお知らせいたします。
- ② 1セッションの時間は、2 時間です(在席責任時間は 1 時間)。
- ③ 各発表には、発表論文集 1 ページを割当てます。

### 2) 発表要件

- ① 「発表論文集への論文掲載」、「ポスターの掲示」、「責任時間の在席」の 3 条件をすべて満たすことによって公式発表として認められます。
- ② ポスター連名発表者は会員に限定しません。
- ③ 連名発表においてポスター責任発表者が発表できない場合、総会準備委員長の承認があればポスター連名発表者が発表を代行できます。ポスター責任発表者とポスター連名発表者がともに発表できない場合は、「発表取消」となります。
- ④ 発表者に欠席や交替などの変更があれば、会期前は総会準備委員会へ、会期中は総会本部へ連絡してください。

### 3) 発表資格

- ① 会員として研究を発表する方は、2013年4月1日時点で、日本教育心理学会の正会員、名誉会員または終身会員(以下「会員」と称する)であり、正会員は2013年度の年会費を2013年4月30日までに納入している必要があります。
- ② 現在未入会の方、および2013年3月大学卒業予定者で発表を希望される方は、2013年3月31日までに日本教育心理学会事務局へ入会の申込みをし、2013年4月30日までに入会金と年会費を納入している必要があります。
- ③ ポスター責任発表者は発表申込みと発表論文集原稿の提出、ならびに予約参加費の納入を2013年4月12日(金)までに済ませる必要があります。
- ④ ポスター責任発表者になるのは一人一回に限ります。ただし、ポスター連名発表者についてはこの限りではありません。なお、ポスター連名発表者に関しては、プログラム編成上、時間が重なる場合があることをご承知おきください。
- ⑤ 会員以外でもポスター連名発表者になることができます。その場合、ポスター責任発表者が非会員の方の連名発表費を納入してください。
- ⑥ 非会員のポスター連名発表者が総会に参加する場合は、総会当日に受付で別途参加費を納入してください。

## 4 自主企画シンポジウム

会員の自主運営によるシンポジウムです。

### 1) 発表方法

- ① 発表の内容、方法、構成はすべて企画者にお任せします(1セッションの時間は2時間を予定しています)。各シンポジウムには発表論文集2ページを割当てます。
- ② 発表(出演)回数の制限  
プログラム編成上の都合から、自主企画シンポジウムの発表(出演)回数(企画者、司会者、話題提供者、指定討論者になる回数)を2回、すなわちプログラムにおける2セッションまでとさせていただきます。1セッション内でこれらの役割を兼ねる場合は1回とカウントします。

### 2) 発表要件

企画者は当該セッションに必ず参加するものとします。また企画者は所定の費用(後掲「自主企画シンポジウム開催費」)を納入してください。

### 3) 発表資格

企画者は会員に限りますが、司会者、話題提供者、指定討論者は会員以外の方も可とします。会員として発表される方は、3の3)の①②をご参照ください。また発表者(出演者)は総会参加費を納入することが必要です。非会員の方は、総会当日に、受付にて総会参加費を納入していただきます。参加費は、当該シンポジウム限定で2,000円(発表論文集なし)になります。当該シンポジウム以外にも参加される場合は、13,000円(発表論文集あり)を納入してください。

### 4) その他

自主企画シンポジウムは会場の都合で調整や不採択の場合もありますので、あらかじめご承知おきください。採否は5月下旬までに企画者にご連絡いたします。もし不採択となった場合には、自主企画シンポジウム開催費はお返しします。

## 5 総会準備委員会企画

今回の総会では、次の特別講演、シンポジウムおよびチュートリアルセミナーを予定しております。詳細は総会ホームページをご覧ください。

### 1) 特別講演と特別公開シンポジウム

#### 特別講演 1

「効果的ないじめ予防プログラム」

カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授

Shane Jimerson

#### 特別講演 2

「子どもたちが健やかに成長する学校環境」

コネチカット大学教授

George Sugai

#### 特別公開シンポジウム

「学校危機からの復興と予防のモデルの創成」

話題提供者：

経済協力開発機構(OECD)教育局シニア政策アナリスト

田熊美保

福島大学教授

三浦浩喜

国立教育政策研究所教育政策・評価研究部部長

葉養正明

カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授

Shane Jimerson

ヨーロッパ学校心理研修機構サイコロジスト

Olanda Momcilovic

指定討論者：

福岡教育大学大学院教授

西山久子

### 2) 準備委員会企画シンポジウム(仮題)

1. 学習者の活動性を高め、理解を深める協同学習
2. 言語力を育む教育環境
3. 発達・教育支援におけるエビデンスにもとづいた実践
4. 父親の育児を考える

### 3) 準備委員会企画チュートリアルセミナー(仮題)

1. 魅力ある授業実践
2. 鑑賞教育における認知心理学

## 6 日本教育心理学会研究委員会企画

詳細が決まり次第、総会ホームページにてお知らせいたします。

## 7 懇親会

総会2日目(8月18日)夜、ラリアンス(L' Alliance: 大学から徒歩約10分。東京都新宿区神楽坂2-11)にて行います。広大な空間に石・木・緑などの自然素材が多用されたリラックスした空間で格式張らずにフランス料理をお愉しみいただけます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

## 8 諸手続き

今回のポスター発表および自主企画シンポジウムの申込み手続きは原則として、総会ホームページからの申込みとなります。総会ホームページからの申込みができない方は、学会事務局(Tel : 03-3818-1534)へご連絡ください。ポスター責任発表者と自主企画シンポジウムの企画者は、必ず予約参加申込みをしてください。予約参加申込みは、日本教育心理学会会員に限られます。

#### 1) 予約参加申込み

総会ホームページから予約参加申込みを行い、2013年6月14日(金)までに総会参加費を振込んでください。

#### 2) ポスター発表および自主企画シンポジウムの申込みと発表論文集の原稿の提出

総会ホームページから、ポスター発表および自主企画シンポジウムの申込みと原稿の提出を2013年4月12日(金)までに行ってください。

#### 3) 発表論文集の原稿作成の概要

ポスター発表には発表論文集の1ページ、自主企画シンポジウムには2ページを割当てます。ファイルタイプはPDFとします。原稿作成の詳細については、総会ホームページをご覧ください。PDFの作成ができない方は、学会事務局(Tel: 03-3818-1534)までご連絡ください。

#### 4) 諸費用の払込み

ポスター責任発表者および自主企画シンポジウム企画者は、2013年4月12日(金)までに、予約参加者は2013年6月14日(金)までに、同封の払込取扱票を用いて、下記に示す諸費用を払い込んでください。郵便局備え付けの払込取扱票をご利用の際は、金額の内訳、ご所属、E-mailアドレスをご記入の上、下記口座にお振り込みください。

口座番号 00170-7-617008

加入者名 日本教育心理学会第55回総会準備委員会

なお、払い込まれた諸費用は、自主企画シンポジウム不採択の場合を除いて、原則として返却できませんので、あらかじめご了承ください。郵便局でお支払いの際の「受領証」は、準備委員会からの領収書が届くまで大切に保管してください。

	払込者	料金(円)	備考
総会参加費	会員	12,000	予約分。7月上旬頃に領収書、参加章、論文集1冊を送付します。
		13,000	予約期間以降及び当日払込み。論文集1冊を配付します。
	会員外	13,000	当日払込み。論文集1冊を配付します。
	学部学生	2,000	当日払込み(受付で学生証を提示してください)。論文集は配付いたしません。
	会員外: 自主企画シンポジウム発表者 (出演者)	2,000	当日払込み。当該シンポジウムのみ参加の場合。
ポスター連名発表費	会員	無料	
	会員外	2,000	ポスター責任発表者が払い込んでください。
自主企画シンポジウム 開催費	企画者	20,000	1企画あたりの料金です(二つ企画する場合は40,000円になります)。不採択の場合は返金します。
懇親会費	会員 (院生を除く)	5,000	予約受付参加者分
		5,500	当日受付参加者分
	院生・学部学生	3,000	予約受付参加者分
		3,500	当日受付参加者分

注 1) 発表論文集は予約参加者数をもとに印刷します。期日までに送金されない場合は、入手できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

注 2) 発表論文集の公費購入は、機関名(領収書等の宛名名義)、担当者、連絡先、部数等、必要事項を明記の上、下記、毎日学術フォーラムに Fax にてお申込みください。

代金は 7,875 円(消費税込み)プラス送料となります。

株式会社 毎日学術フォーラム 日本教育心理学会第 55 回総会担当係

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

Tel : 03-6267-4550 Fax : 03-6267-4555

## 9 今後の通信予定

- 1) 諸費用を払い込まれた方には、「領収書」と「参加章」をお送りいたします。
- 2) プログラムは、2013 年 7 月上旬に全会員へお送りいたします。また、プログラムの内容は決定し次第、総会ホームページ上にてお知らせします。非会員のポスター連名発表者分のプログラムは、ポスター責任発表者にまとめてお送りいたします。
- 3) 発表論文集は、2013 年 7 月上旬に発送予定です。その際に「領収書」と「参加章」は同封いたします。総会参加費を払い込まれた方に送付いたします。

## 10 連絡先

### 1) 総会に関する連絡先

法政大学文学部心理学科内 日本教育心理学会第 55 回総会準備委員会

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

E-mail : jaep2013@gmail.com

### 2) 総会の案内・プログラム・論文集の発送と各種事務手続きに関する連絡先

大会事務センター 担当 : 塚田敏明

E-mail : ttsukada-taikai@kym.biglobe.ne.jp

Tel・Fax : 050-7524-3794

### 3) 総会の Web 申込み、学会への入会手続きおよび住所等の変更に関する連絡先

日本教育心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6 本郷大原ビル 7F

E-mail : office@edupsyh.jp

Tel : 03-3818-1534 Fax : 03-3818-1575

皆様のご参加を準備委員会一同、心よりお待ちしております。

